

2019年1月10日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 1番5号 PMO 日本橋江戸通
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

汎用・スーパーエンブラおよび機能性樹脂市場を調査

2022年世界市場予測（2017年比）

汎用・スーパーエンブラ、機能性樹脂世界市場 1,515万トン（19.1%増）
 ～ 自動車やエレクトロニクス分野で需要増が期待され市場拡大 ～

<注目市場>

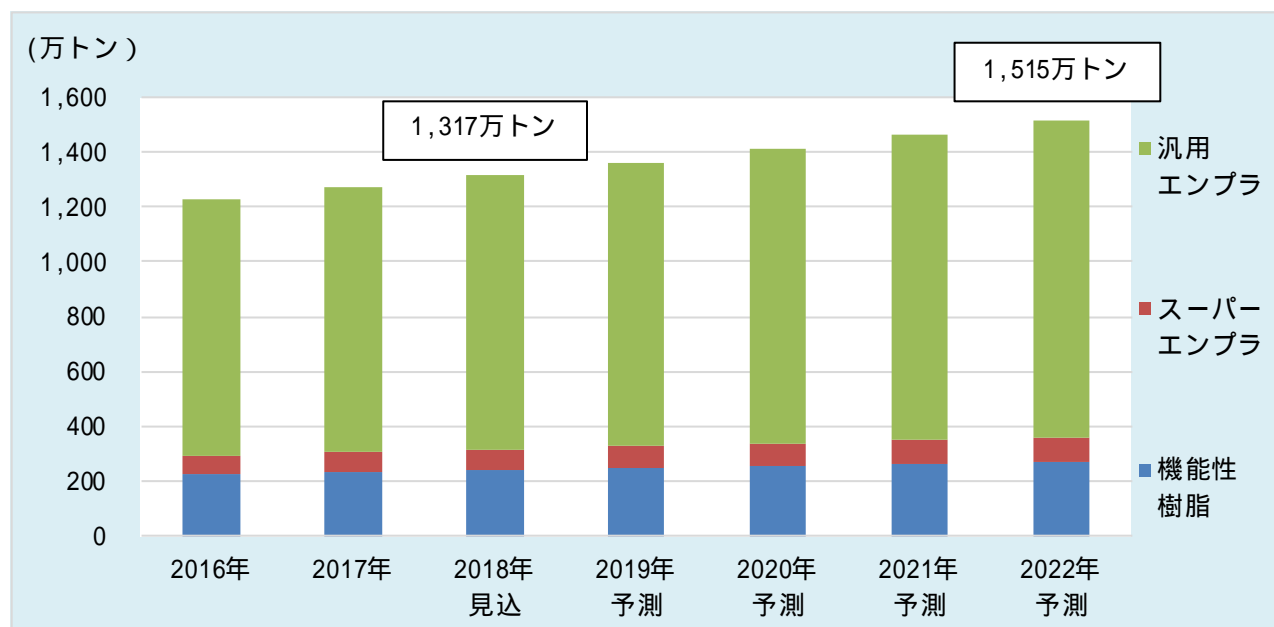
SPS（シンジオタクチックポリスチレン） 26,800トン（47.3%増）
 ～ 次世代高速通信『5G』の整備や自動車のADAS対応の進展により市場拡大が期待 ～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、耐熱性や機械的性質、電気的性質などを活かし、注目用途としてHV・EVを含めた自動車分野、スマートフォン・LEDに代表されるエレクトロニクス分野の需要増加が予想されるエンブラ関連市場を調査した。その結果を「2019年 エンブラ市場の展望とグローバル戦略」にまとめた。

この調査では、汎用エンブラ8品目、スーパーエンブラ21品目、機能性樹脂8品目、計37品目の市場を調査・分析し、地域別、分野・用途別動向を明らかにし将来展望した。

<調査結果の概要>

汎用・スーパーエンブラ、機能性樹脂世界市場



汎用エンブラは、中国や東南アジア、インドを中心に市場が拡大している。中国は、モバイル端末、TV、家電など様々な工業製品の生産において世界最大であることや各種インフラの整備が途上段階であるため、汎用エンブラの需要が増加している。東南アジア、インドは経済成長や人口増加で家電や自動車の現地生産化が進んでおり、需要が増加している。今後も、中国や東南アジア、インドが市場をけん引し、自動車やエレクトロニクスを中心にインフラ（建築土木）、産業機器、医療などの幅広い用途で需要増加が期待され市場拡大が予想される。

スーパーエンブラは、耐熱性、機械的強度、耐摩耗性などが汎用エンブラより優れている特性を活かし、自動車、エレクトロニクスから航空宇宙まで、用途の幅が広がっている。今後は、自動車の軽量化・電装化による需要増や

電気・電子部品向けがけん引し、市場は拡大するとみられる。また、HV・EV専用部品でも需要が増加するとみられ、市場の拡大に寄与すると予想される。

機能性樹脂は、耐熱ABS（アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合樹脂）とPMMA（ポリメタクリル酸メチル）が市場の大半を占める。耐熱ABSは、主要用途である自動車の生産台数が伸びていることから、需要が増加している。今後は自動車生産台数の増減と連動して安定した成長が予想される。PMMAは、サイネージやLED照明の需要増加に合わせて伸びている。今後は、自動車や建築材料などの用途で需要が増加するとみられる。

<注目市場>

SPS（シンジオタクチックポリスチレン）【スーパーエンブラ】

| 2018年見込 | 2017年比 | 2022年予測 | 2017年比 |
|----------|--------|----------|--------|
| 20,000トン | 109.9% | 26,800トン | 147.3% |

SPSは、中国が日本を追い越し最大の市場となっている。自動車（コネクタ類やECUハウジングなど）や家電（電子レンジなど）部品などの既存用途で需要は増加しており、市場は拡大している。今後は、中国や東南アジアを中心に自動車や家電用途で需要の増加は続くと考えられ市場の拡大が予想される。特に、自動車用途ではソノレイドバルブ部品を除く採用部位は電装品であることから、今後次世代高速通信『5G』の整備や自動車のADAS対応の進展、中国や欧州におけるEV化の推進を背景に市場の拡大が予想される。

PAR（ポリアリレート）【スーパーエンブラ】

| 2018年見込 | 2017年比 | 2022年予測 | 2017年比 |
|---------|--------|---------|--------|
| 3,870トン | 104.0% | 4,490トン | 120.7% |

PARは、自動車のレンズ周辺部品で耐熱PCへの切り替えが進んでいるものの、透明ヒューズカバーやリフレクターなどの部品で需要を獲得しており伸びている。電気・電子部品は、スマートフォン用レンズホルダなどで需要が増加しており、これらを背景にPAR市場は拡大している。今後、自動車用途はレンズ周辺部品の需要減少が続くとみられるが、透明ヒューズカバーやリフレクターなどの部品の伸びで減少分を補っていきとみられる。また、新規用途や採用ユーザーの拡大が予想される。電気・電子部品では、高性能化などが進むにつれ、競合のPCでは対応しきれない耐熱性能を要求される温度領域が出てきた際にPAR需要は増加するとみられ、市場の拡大が期待される。

U-PE（超高分子量ポリエチレン）【汎用エンブラ】

| 2018年見込 | 2017年比 | 2022年予測 | 2017年比 |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 185,500トン | 104.3% | 214,950トン | 120.9% |

U-PEは、日本や中国を中心にEV/HV向けを含むLiBセパレータ用で需要が増加し、市場は拡大している。また、北米では、患者数の増加などにより医療用途で需要が増加している。今後は、中国がEVの国内シェアを70%に高めるといった方針を打ち出していることから、LiBセパレータ用で需要はさらに増加するとみられ、市場の拡大が予想される。また、先進国では、繊維や医療用途で需要は増加するとみられる。

COP・COC（環状ポリオレフィン）【機能性樹脂】

| 2018年見込 | 2017年比 | 2022年予測 | 2017年比 |
|----------|--------|----------|--------|
| 45,650トン | 104.7% | 54,420トン | 124.8% |

COP・COCは、主要用途である光学フィルム・レンズ（位相差フィルム、モバイル端末用レンズなど）、パッケージ（食品用包装など）、医療用品（バイアルなど）で需要が増加しており、市場は拡大している。今後、光学フィルムは、TVおよびタブレット端末市場の伸びが鈍化しているものの、画面の大型化により面積の拡大に連動した需要増加が続くとみられる。光学レンズは、スマートフォンを含むモバイル端末向けや自動車のADASに必要な外部センサーで需要が増加するとみられる。パッケージは、包装材料のリサイクル意識の高まりから需要が増加しており、参入企業の生産能力増強が進み伸びると予想される。

<調査対象>

| | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 汎用エンブラ | |
| ポリカーボネート (PC) | ポリアセタール (POM) |
| 変性ポリフェニレンエーテル (m-PPE) | ポリブチレンテレフタレート (PBT) |
| ポリアミド6 (PA6) | ガラス繊維強化ポリエチレンテレフタレート (GF-PET) |
| ポリアミド66 (PA66) | 超高分子量ポリエチレン (U-PE) |
| スーパーエンブラ | |
| ポリアミド610・ポリアミド612 (PA610・PA612) | ポリアリレート (PAR) |
| ポリアミド11・ポリアミド12 (PA11・PA12) | ポリサルホン・ポリフェニルサルホン (PSF・PPSF) |
| ポリアミドMXD6 (PAMXD6) | ポリエーテルサルホン (PES) |
| ポリアミド46 (PA46) | ポリエーテルイミド (PEI) |
| ポリアミド6T (PA6T) | ポリアミドイミド (PAI) |
| ポリアミド9T (PA9T) | 熱可塑性ポリイミド (TPI) |
| ポリアミド10T・ポリアミド11T (PA10T・PA11T) | 芳香族ポリエーテルケトン (PAEK) |
| ポリシクロヘキシレンジメチレンテレフタレート (PCT) | ポリベンゾイミダゾール (PBI) |
| シンジオタクチックポリスチレン (SPS) | ポリテトラフルオロエチレン (PTFE) |
| ポリフェニレンサルファイド (PPS) | 溶融フッ素樹脂 |
| 液晶ポリマー (LCP) | |
| 機能性樹脂 | |
| 耐熱アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合樹脂 (耐熱ABS) | ポリエチレンナフタレート (PEN) |
| ポリメタクリル酸メチル (PMMA) | ポリグリコール酸 (PGA) |
| 環状ポリオレフィン (COP・COC) | グリコール変性ポリエチレンテレフタレート (PET-G系樹脂) |
| ポリメチルペンテン (PMP) | バイオポリカーボネート (バイオPC) |

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2018年8月～11月

以上

資料タイトル:「2019年 エンブラ市場の展望とグローバル戦略」

体 裁: A4判 386頁
 価 格: 書籍版 150,000円+税
 PDF+データ版 160,000円+税
 書籍/PDF+データ版セット 180,000円+税
 ネットワークパッケージ版 300,000円+税
 発 行 所: 株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通
 TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165
 URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/> e-mail: info@fuji-keizai.co.jp
 調 査・編 集: 東京マーケティング本部 第五部
 TEL: 03-3664-5821 FAX: 03-3661-9514

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>